

令和4年度 朝来市立（ 梁瀬中 ）学校 学校評価

年度末はこの様式にて提出してください。

学校教育目標

山東を愛し 共に自己を磨き合い 心清く
未来を担う 自立した生徒の育成

総合的な学校関係者評価

全体的に落ち着いた雰囲気の中で生徒たちが学校生活を送っているのが、適切な学校運営が行われていると感じる。今年度の取り組みである家庭学習の充実やデジタルドックスDAYの実施、地域を挙げてのあいさつ運動などは、地域や家庭と協働することで大きな成果が期待できる。ICTの効果的活用の研究・研修を通し、生徒の学力の向上につなげていってほしい。

※文書表現で記入してください。

自己評価 達成状況（A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない）

	評価の観点	達成状況	学校の取組状況・今後改善すべきこと	自己評価の妥当性 (評価項目ごとの学校関係者評価・意見等)		
学校運営	地域とともにある学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学年・学級通信、各種案内などを通して、学校での生徒の様子等の情報発信に心がけている。ホームページの更新など保護者アンケートからは十分でないとの意見も寄せられており、さらに工夫して積極的に情報発信を行い、学校での生徒の様子を保護者や地域の方々に理解していただけるよう取り組んでいく。 ・今年度は体育祭や文化祭など学校行事の多くを保護に公開することができた。しかし地域の方々への学校公開は1度もできなかった。今後も工夫をしながら、学校開放を進めていく。 	<p><学校運営について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響がある中で、学校全体で工夫をしながら安心・安全を最優先に考えた学校運営を進めていると感じている。 ・来年度はさらに工夫を凝らし、学校開放を進め、地域に開かれた学校運営に取り組んでほしい。 ・アフターコロナの中で、学校行事等の見直しを図られていると思うが、行事の重要性を含め、職員で十分に検討して見直しをすすめていただきたい。 ・先生方の負担も大きいが、健康に留意して明るく教育活動をすすめていただきたい。 ・学校運営協議会としても具体的に協力的なことを考えていきたい。 	
		オープンスクール（学校公開）など住民参加の教育活動の推進	B			
	生徒指導	豊かな集団生活が営まれる学級づくり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統ある「共創」の取組が、職員と生徒が工夫をし、可能な取り組みについて、内容の充実を図ることができた1年間であった。 「共創」の取組は、本校の基本方針であり、新学習指導要領の基本指針とも合致しており、今後とも職員同士の意識を高め合い創意工夫して、生徒主体の教育活動を進めていくことができるよう取り組んでいく。 ・生徒の内面理解については、教育相談を計画的に実施できた。 ・いじめアンケートを定期的に実施し、生徒の変化をできるだけ早く発見し、対応できるようにSICやSSWと連携しながら生徒指導を行った。また、常に職員同士の報・連・相の徹底を図り情報の共有をすすめて、組織全体で迅速で機動的に対応できる体制づくりを進めていった。 		
		児童生徒の内面理解を図る指導の工夫	B			
		いじめ、不登校、問題行動、ネットトラブル等への適切な対応	A			
	危機管理体制の整備	マニュアルの点検・見直し	B	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を学期に1回行い、阪神淡路大震災や東日本大震災が起きた日には追悼行事を行うなど防災教育や人権教育を進めることができた。 ・梁瀬自治協議会の方に来ていただき防災教育を共同開催など来年度もできるだけ地域と共に防災教育を進めていきたい。 ・防犯の観点から、校内の環境を改善し、インターホンの設置や施錠の徹底、来客者の対応を丁寧に行った。 		<p><生徒指導について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が落ち着いているには、全職員で共通理解を行い指導ができてきているからである。 ・全校をあげてあいさつ運動を展開しているが、地域でもあいさつを奨励していきたい。 ・学校だよりやホームページを活用して、今後とも学校の様子をしっかり発信してほしい。 ・SNSの危険性について保護者と共に協力しながら今後も指導を継続してほしい。また講師を招いて親子で学ぶ機会、講演会を計画していってほしい。
		地域課題に応じた防災、防犯教育の実施	A			
	特別支援教育	インクルーシブ教育の推進、校内の指導体制、個に応じた指導	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援委員会やケース会議、を定期的に行うことができた。そのため、個に応じた指導について、全教職員が共通理解を持って取り組むことができた。 ・定期的に合理配慮について見直しを検討する機会をもった。 		
	安全安心に過ごすことができる学校づくり	新型コロナウイルス感染症対策	A	<ul style="list-style-type: none"> ・市の対処方針に基づき、安心・安全を最優先とした教育活動を推進できた。 ・各種案内により、新型コロナウイルス感染症対策の理解を十分に図れた。 		
あさごドリムアップ事業	特色ある学校づくり	B	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度は工夫を凝らし、特色のある取組を地域と共に進めていくことをしていかなければと考える。 			
教育課程	自ら学び自ら考える力の育成	主体的・対話的で深い学びの視点に立ち情報活用能力育成を含めた授業改善、授業のUD化の推進	B	<p><教育課程></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のUD化の推進やICTの効果的活用を通して、生徒たちすべてにわかりやすい授業を進めてほしい。 ・研究授業の機会が減ったとあるが、今後とも校内研修の充実を図り、生徒の学力や道徳性の向上に努めてほしい。 		
	基礎・基本の定着と個に応じた学習指導の充実	指導内容・指導方法の工夫改善、評価方法の創意工夫	B			
	道徳教育	授業研究の充実と指導の工夫	A			
	総合的な学習の時間	全体計画に基づく工夫改善	B			
課題教育	人権教育	人権尊重の精神の育成	A	<p><課題教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS関係のトラブルなどが数件あったが、本人や保護者の相談、アンケート等により、早期に発見し対応することができた。今後も、人権教育の観点から保護者と協力しながら指導を継続していく必要がある。またPTAと連携して、講演会等を企画していきたい。 ・事前指導や事後指導など工夫をし、生徒にとって有意義な活動になるように行った。 ・食育の推進については、献立等を活用して、地産地消やバランスのとれた食事について理解を深めた。 ・キャリア教育については、講師を招へいし実施することが少なかった。ICTを活用し、リモートで取り組むことができた。 		
	体験活動の充実	自然学校、トライやる・ウィーク等を含めた体験活動の充実	B			
	食育の推進	栄養教諭と連携した食育の推進	B			
	キャリア教育	進路選択能力の育成・社会的自立に必要な態度や能力の育成	A			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・協働体制の構築 ・勤務時間の適正化 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー部活デーやノー会議デーが定着し、職員の意識も向上する中で勤務時間の適正化が進んだと考える。音声ガイダンスによる電話対応の導入や行事の精選など今後も業務改善を進めていく。 			